

柏プラネット工場見学の報告

千葉市は、「挑戦！焼却ごみ1/3削減」として、年間の焼却ごみの1/3にあたる10万トン削減し、市内に3つある清掃工場を1つ減らして2清掃工場体制の実現を目指しています。現在、ビン、缶、ペットボトル、古紙・布類などの分別収集に加え、雑紙を分別する呼びかけに力を入れているようです。そして、平成22年からは、プラスチック製容器包装の分別収集を行うことを予定しています。

そこで、既にプラスチック容器包装の分別収集を平成7年から行っている柏市の現状を視察してきました。

—2009年4月30日（木）—

市民ネットワークみどり
大塚康子
小田知子

容器包装リサイクル法ってなに？

「大量生産・大量消費・大量廃棄」のおかげで、ゴミは増大し、それを埋め立てる最終処分場が足りなくなってきたため、ゴミが出ることを抑える取り組みと、リサイクルによるゴミの減量が必要となりました。中でもゴミの中で約6割近くを占める商品を包んでいるもの（容器包装廃棄物）の処理が問題になりました。

そこで政府は、1995年、「容器包装リサイクル法」（正式名称＝容器包装に係わる分別収集および再商品化の促進等に関する法律）を制定し、家庭からゴミとして出される容器包装廃棄物のリサイクルシステムを作りました。

それまでは市町村だけが全面的に責任を担っていた容器包装廃棄物の処理を、消費者は分別して排出し、市町村が分別収集し、事業者（容器の製造事業者・容器包装を用いて中身の商品を販売する事業者）は再商品化するという、3者の役割分担を決め、3者が一体となって廃棄物の削減に取り組むことになったのです。

1997年4月の一部施行時は、ガラス製容器、飲料またはしょうゆを充填するためのペットボトル、飲料用紙パック（アルミニウムが利用されているものを除く）等、2000年4月からは、ペットボトル以外のプラスチック製容器包装、飲料用紙パック以外の紙製容器包装が加わりました。

柏市でプラスチックゴミの分別収集が早くから進んだのは・・・？

柏市は、人口増加に伴い、ゴミ処理量が増え、新しくゴミ処理施設が必要となりました。しかし、その建設に多くの住民が反対し、ゴミ処理施設を作らず、ゴミを減らすということを考えることになりました。そのため、早くからプラスチックゴミを分別収集し、それをリサイクルするシステムが作られたのだそうです。

柏プラネットの作業の流れ

収集したプラスチックごみの搬入量を計量機により、自動計量します。

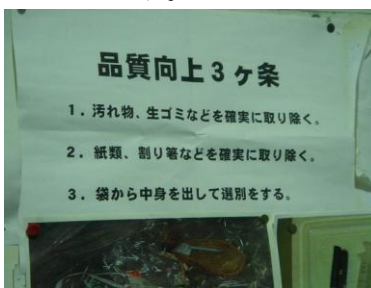
毎週水曜日に延べ台数 130 台でプラスチックゴミを回収している。
週 100 トン前後の重量

①ストックヤードに投入し、一時貯留します。



黄色い大袋が、収集用の袋。その中に、プラゴミがスーパーのレジ袋などに入れられている。破袋機は、大袋を破ることはできるが、その中の小袋は破壊できない。そのため、それを手作業で破壊しなくてはならない。

②プラスチックごみを投入コンベアに入れます。



③袋詰めされたものは、破袋機で袋を破袋し、選別できるようにします。

④プラスチックごみを手選別や磁力選別により、容器包装プラスチック、非容器包装プラスチック、その他の異物等に選別します。



工場での分別は、手作業。
スーパーの袋などに入っている場合、それを全て破って、中身を確認する必要がある。

プラスチック容器ではないものを取り除く。(生ゴミ、フライパン、包丁、鍋なども混じっている)
特に多いのは注射器



こんなものまで混じっていたようだ。

⑤選別した容器包装プラスチックを圧縮し、PPバンドで結束した上で、ボール品(1×1×1.4m)にし、保管します。



異物は清掃会社へ

毎週、水曜日に回収したものを、木曜日から火曜日までの間(日曜日は除く)に、処理する。



基準が上がり、品質を求められるようになったので、以前のJFE、ジャパンリサイクルでは無理になった。※PPとPEが主成分で75を90まで基準が上がったそうです。
エコスファクトリー(埼玉県)に引き渡している。



リサイクルされた擬木のベンチやフェンスが展示されていた。



発泡スチロールは、業者へ渡してリサイクルしている。
摩擦熱で溶かす→硬い板状にする→定規、ビデオケースになる。

感想

- 工場で作業しているのがすごいと思いました。
- ビニール袋に1まとめにされると中が見えないので、手作業の時に見落としがちになってしまうので、ビニール袋には入れない方がいいそうです。
- 前に柏プラネット工場で、ライターが小袋に入っていたので、分別できずに火災になってしまった事があるそうです。千葉でも分別するようになったら、市民の皆さんにも強く注意していかなければいけないと思いました。ルールを守って出せば分別する手間もかからないのに、なぜ色々なゴミが交ざっているのか不思議でした。もっと一人ひとりの意識を上げることをしていかないといけないと思います。
- リサイクルして、たどりつく商品もいずれはゴミとなってしまいます。一番大切なのは、結局は、最初からゴミを生みださないことだと思います。
- 柏プラネットでは、見学を大事にしていました。多くの人に実態を知ってもらい、分別の必要性を感じてもらおうのが目的だそうです。とても前向きな所長さんでした。